

## 研修報告書No. 2

所 属：県外大学病院研修医

研修先：佐川町立高北国民健康保険病院

仁淀川町国民健康保険大崎診療所

私は研修2年目に一ヵ月間、佐川町立国保高北病院と仁淀川町国保大崎診療所で研修させて頂きました。東京、札幌といった都市部にしか住んだことがなく、四国も初上陸であった私を迎えたのは予想以上の大自然でした。高北病院、大崎診療所のスタッフの方のご厚意で、院外実習も大いに楽しませて頂き、非常に感謝しております。

私は、学生時代は市中病院での実習はほとんどなく、また研修1年目は都内の大学病院での研修だったため、ほとんどの患者は急性期の方でした。急性期治療が終わると他院に転院というかたちだったので、大学病院を退院したその後を知ることはほとんどありませんでした。

佐川町の人口の35%以上、仁淀川町の人口の52%以上が65歳以上という高齢地域であること、入院患者の平均年齢は80歳を優に超えていることに驚きでした。しかしそれ以上に印象的だったのは、同時に健康寿命も高いという事でした。80歳、90歳になるまでは入院することなく生活しているということは、都市部に比べてとても元気な高齢者が多いということを物語っています。もちろん皆が皆問題を抱えていないかといえばそうではなく、高齢であるにもかかわらず一人暮らしである、老老介護である、老人ホームの提供が十分でない、金銭的に老人ホームへの入居が困難、などといった様々な問題を抱えてはいます。これらを地域ぐるみで協力して解決し、よりよい生活を目指そうとする取り組みは非常に重要で、今後いっそう高齢化地域が増えると予測される日本社会にとって欠かせないものであるに違いありません。地域ぐるみで、百歳体操といった健康増進の場を提供し予防医療に積極的に取り組むなど、地域にも発信できるものを高知県は多く持っていると感じました。今回の地域研修では訪問診療やグループ・ホームの訪問などにも行かせて頂き、僅かながらでもその一端を担うことができたとしたら、それは非常にうれしいことと思います。また今回の研修中、ドクターヘリで患者搬送をする機会があったのですが、緊急時におけるドクターヘリの予想以上の搬送スピードの速さに驚きを隠せませんでした。山間部でのヘリの活躍を身をもって体感しました。これも東京では経験する事のなかったことの一つであり、とても幸運に思います。

大学病院では自分の専門外のことはすぐに他科にコンサルトすることが可能でしたが、こういった地域の病院では幅広い知識を持つことが求められます。広い分野で知識、技術を日々アップデートしていくのは簡単な事ではありませんが、そのような努力をし、また患者さんからの尊敬を集めるドクターたちに出会えたことも今回得たものの一つです。また看護師、栄養士、検査技師といった co-worker の業務も体験し、一ヵ月という短い期間

ではありましたが、多くのことを学びました。このような素晴らしい機会を下さった方々に、心より御礼を申し上げたく存じます。